

1. 概要

- プレイステーション3(PS3)コントローラーを外に取り付けたスイッチで操作できるようにしたものです。
- 操作スイッチは2つ接続できます。
- スイッチを押す回数で操作するボタンを選択して、17個のボタン操作ができます。
- PCに接続して設定を変えることができます。



2. 各部の名称と機能



スイッチジャック1
操作スイッチを
接続します

スイッチジャック2
操作スイッチを
接続します



USB端子
PS3に接続します
(ゲーム時)

バッテリースイッチ
内蔵バッテリーを
入/切します

設定用USB端子
PCに接続します
(設定時)

3. 使い方

1. コントローラーを Bluetooth または USB コードでPS3本体に接続してください。(PS3に接続するときは上側のUSB端子を使用します)
2. スイッチジャックに操作スイッチを差し込んでください。
3. スイッチ1, 2の機能は同じで、それぞれ独立して動作し、同時操作もできます。
4. スイッチを短く押すと○ボタンの操作が行われます。(出荷時の設定)
5. スイッチを2回続けて押すとXボタンの操作が行われます。
6. 同様にスイッチ3回で□ボタン、4回で△ボタンのようにスイッチ1回から10回まで、スイッチ回数に対応したボタン操作が行われます。
7. スイッチを11回以上押したときは何も行われません。
8. 1回目にスイッチを長く押すと、ブザーが2回鳴ってグループ2に切り替わります。
9. グループ2では、スイッチ1回で方向キーの右ボタン操作、2回で左、3回で上、4回で下のようによりグループ1とは異なるボタン操作が行われます。
10. グループ2で1回目にスイッチを長く押すとはじめの状態(グループ1)に戻ります。
11. スイッチ2回目以降で長く押したときはキャンセル操作となり、ボタン操作は行われません。
12. スイッチ回数でボタンを選んで操作を実行した後すぐにスイッチを押すと、回数で選択する操作を省略して前回と同じ操作が即座に行われます。(繰り返し操作)
13. 繰り返し操作中はスイッチを押している間ボタンが押されたままの状態になります。(ボタン長押し)
14. 繰り返し操作中スイッチを連打するとボタンの連打操作となります。
15. スイッチを離して一定時間経つと繰り返し操作を終了し通常操作に戻ります。
16. 右スティック、左スティックはスイッチ操作できません。
17. コントローラーのボタン、スティックは直接押して操作することもできます。



4. 設定ソフト

1. スイッチ回数とボタンとの対応や操作スピードなどの設定をPCに接続して変更することができます。
2. 付属CD内の PS3_2SW.exe をダブルクリックして起動してください。
3. 右のような画面が出ればインストール作業は不要で、設定操作を開始できます。
4. アプリケーションエラーが出た場合は、以下に沿って.NET Framework3.5SP1 をインストールしてください。



●Windows Xp、WindowsVista の場合

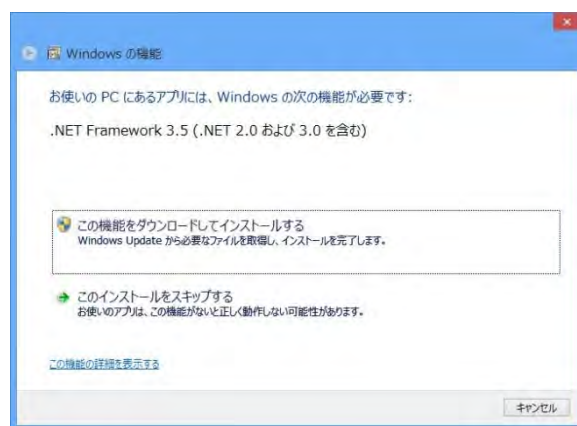
5. CD内の dotnetfx35.exe を実行してください。インストールの途中でインターネットへの接続が試みられますが、必要なファイルはすべてCD内にあり、インターネットに接続してなくてもインストールは完了します。
6. もう一度 PS3_2SW.exe を起動し、別のアプリケーションエラーが出る場合はCD内の vcredist_x86.exe を実行し Microsoft Visual C++ 2010 Redistributable をインストールしてください。

●Windows7、Windows8 の場合

ふたつの方法があり、どちらもインターネット接続が必要です

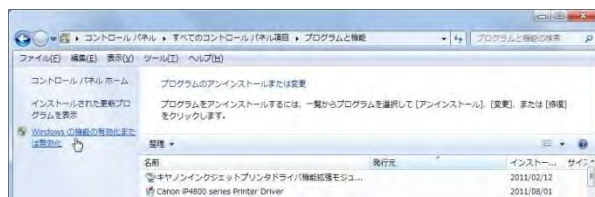
*エラーメッセージからインストールする方法

エラーメッセージが出たら、「この機能をダウンロードしてインストールする」をクリックし、画面にしたがってインストールを行ってください。



*コントロールパネルからインストールする方法

コントロールパネルで、[プログラムと機能] を選択し、[Windows の機能の有効化または無効化] を選択し、[Microsoft .NET Framework 3.5.1] チェック ボックスをオンにします。



5. 設定方法

1. USBコードをPS3用PC用どちらも外して下さい。
2. バッテリースイッチを「切」にして下さい。
3. 設定用USB端子にUSBコードを差し込み、PCのUSBポートに接続してください。
4. バッテリースイッチを「入」にして下さい。
5. PS3_2SW.exe を起動してください。
6. 「読み出し」ボタンをクリックすると現在の設定内容が表示されます。
7. 必要に応じて設定を変更してください。
8. 「書き込み」ボタンをクリックすると、表示されている設定内容がコントローラーに書き込まれます。

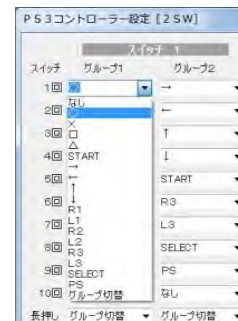


9. 「終了」をクリックして設定ソフトを終了してください。
10. バッテリースイッチを「切」にしてください。
11. USBコードを外してください。

6. 設定項目

● スイッチ回数とボタンの対応

1. スイッチ操作回数(1~10回)に対応したボタンとスイッチ長押し時の操作をスイッチ1。スイッチ2のグループ1、グループ2それぞれについて設定します。
2. ○、×、△、□、START、上、下、左、右、R1、L1、R2、L2、R3、L3、SELECT、PSボタンの計17のボタンとグループ切替、操作なしから選択できます。
3. ひとつのボタンを複数割り当てることもできます。
4. 項目の▼をクリックして表を出して選択します。



● スイッチ操作間隔

5. コントローラーのボタン操作はスイッチを離して一定時間経ったとき行われます。
6. スイッチを2回続けて押す時は、1回目のスイッチを離した後ボタン操作が行われる前に次のスイッチを押す操作を行う必要があります。
7. スイッチをどれだけ素早く操作できるかにあわせてボタン操作が行われるまでの時間を調節します。
8. 時間を短くするとスイッチ操作からボタン操作までの時間が短くなりますが、スイッチはすばやく操作する必要があります
9. 時間を長くするとスイッチをゆっくり操作できますが、スイッチ操作後ボタン操作までの時間が長くなります。
10. 設定は「スイッチ操作間隔」の▼▲で数値を増減します。数値は0.02秒単位で、50のとき1秒です。



● 繰り返し待ち時間

11. ボタン操作後繰り返し待ち時間内に再びスイッチを押すと、直前に行ったボタン操作を繰り返し行うことができます。
12. 時間を短くするとすぐに別の操作を開始できますが、繰り返し操作のためのスイッチ操作はすばやく行う必要があります。
13. 時間を長くするとゲームの反応を見てから繰り返し操作を行うことができますが、別の操作を行う場合は待つ必要があります。
14. 設定は「繰り返し待ち時間」の▼▲で数値を増減します。数値は0.02秒単位で、50のとき1秒です。

● 長押し時間

15. スイッチを押したままにして長押しと判定されるまでの時間を設定します。
16. 設定は「長押し時間」の▼▲で数値を増減します。数値は0.02秒単位で、50のとき1秒です。

● ばたつき除去(オフディレイ)設定

17. 軽い操作のスイッチを使用したときなどに、スイッチのオンオフがいちどで切りかわらず、ばたつくことがあります。ばたつきが起こるとスイッチの操作回数としてカウントされ、意図した回数よりも多いスイッチ操作回数のボタン操作が行われることがあります。

